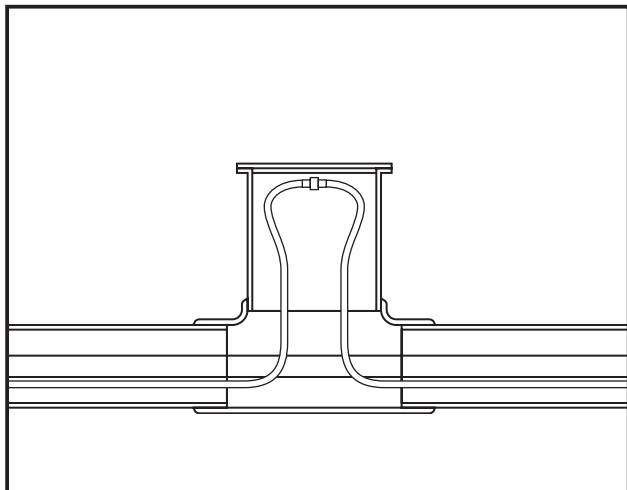


TT3000バルクケーブル対応
現地施工用コネクタ

施工要領書



はじめに

本キットはTT3000バルクセンサケーブルに使用する現地施工用コネクタの部品を含んでいます。本キットにはコネクタに適合する5個分の部品があります。

必要工具

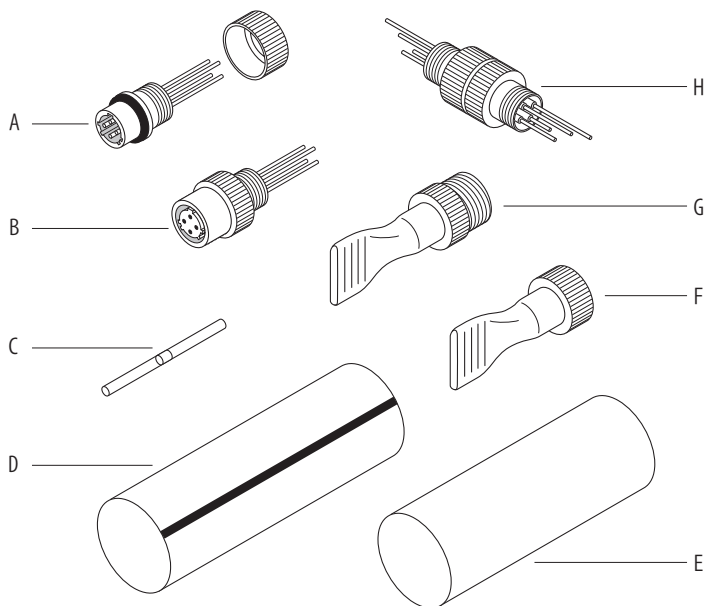
- ラジオペンチ ●炎が出ない加熱装置 (Ultratorch 200)
- 絶縁抵抗計 (20メガ以上測定可能なもの Fluke 87 同等品)
- グリーンリー社製ストリッパー (1917 または 1918)
- TT-CT-SCT (圧着工具) ●マスクテープ

注意

- 炎が出る加熱装置を使用しないでください。
- オスコネクタが必ず検出器側になるようにセンサケーブルに取付けてください。
- TT3000バルクケーブルにのみ使用してください。他の TraceTek センサケーブルには使用できません。

キット内容

項目	数	名称
A	5	TT-CK-MC-M オスコネクタ
B	5	TT-CK-MC-F メスコネクタ
C	45	ソルダスリーブ (予備 5 個)
D	11	熱収縮チューブ (約 50mm) (予備 1 個)
E	11	熱収縮チューブ (約 50mm) (予備 1 個)
F	1	TT-MET-MC オスエンドコネクタ
G	1	TT-FET-MC メスエンドコネクタ
H	1	オス・メスコネクタテストツール



⚠ 警告

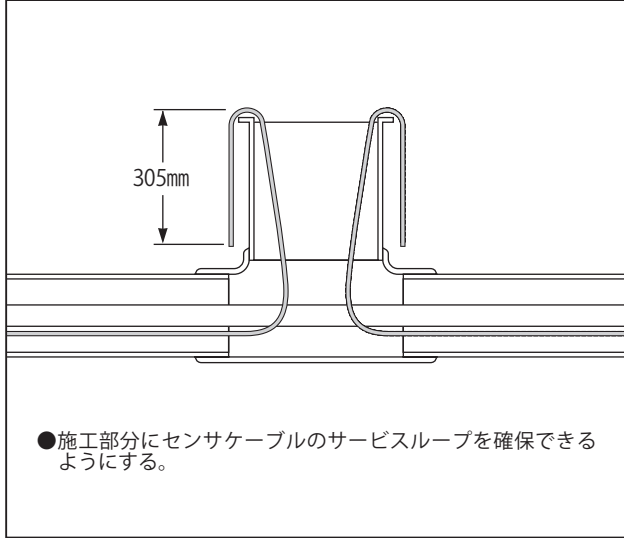
火災の危険。ヒートガンや炎の出ない加熱装置は危険場所では火災や爆発の原因になります。これらの装置を使用する前に可燃性物質や蒸気が存在していないことを確認して下さい。

危険場所での作業は現場の安全指示に従って下さい。

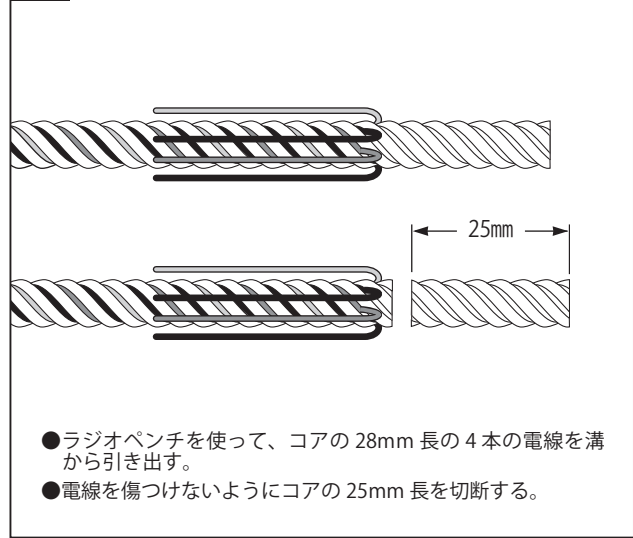
⚠ 注意

作業中、熱収縮チューブを焦がしたり焼いてしまった場合、目、肌、鼻、喉に刺激性のある臭いが発生します。

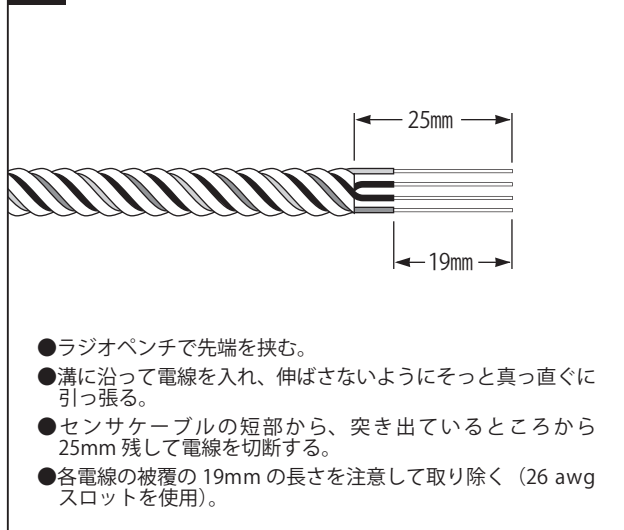
1 センサケーブル端部の準備



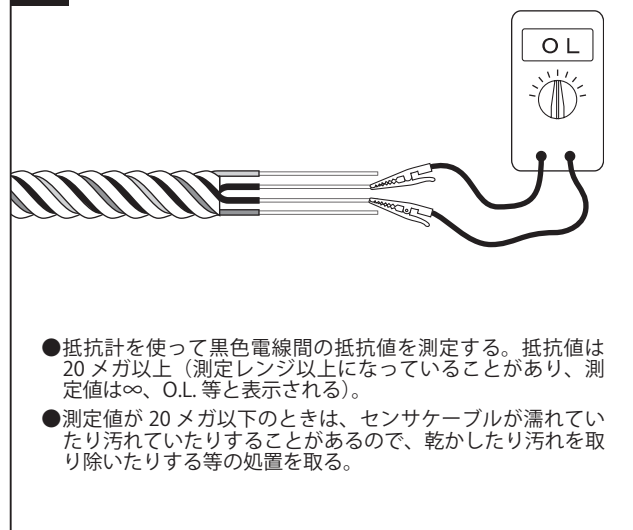
2



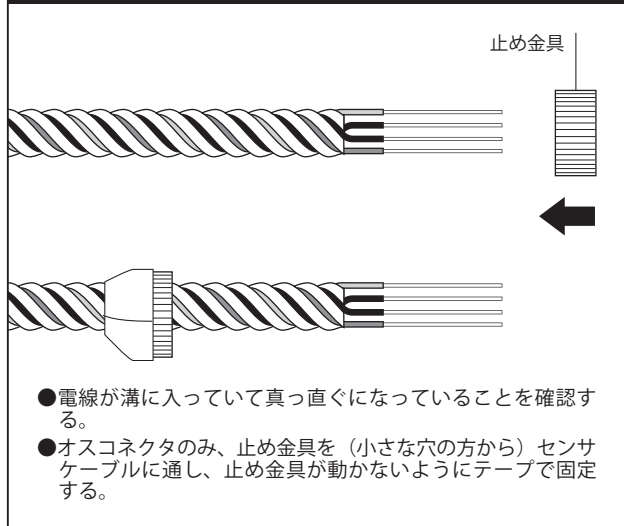
3



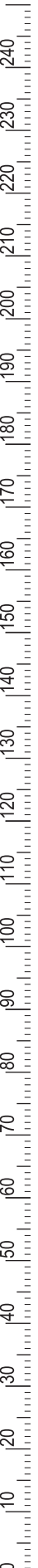
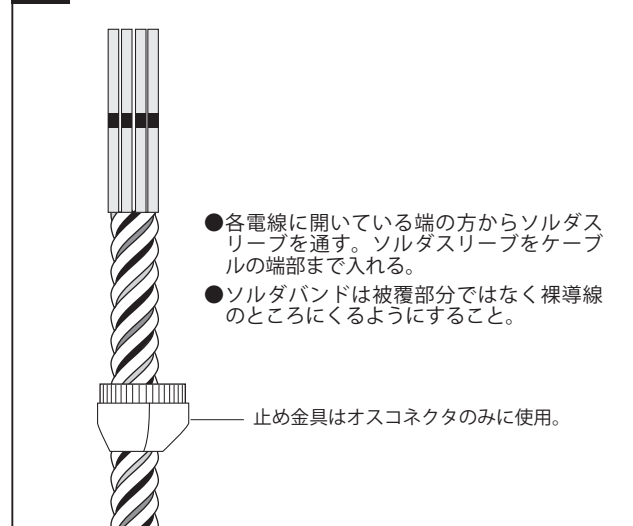
4

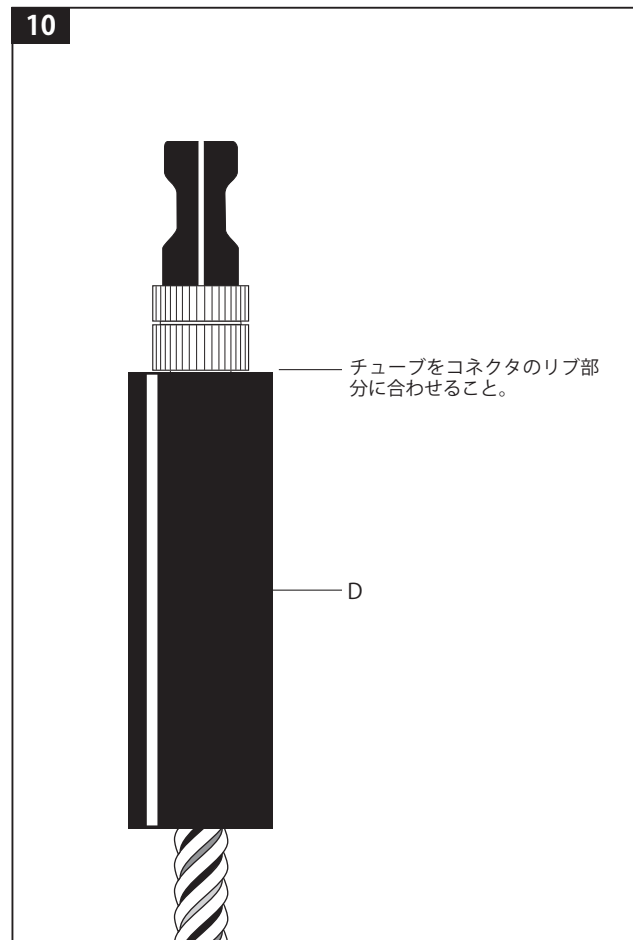
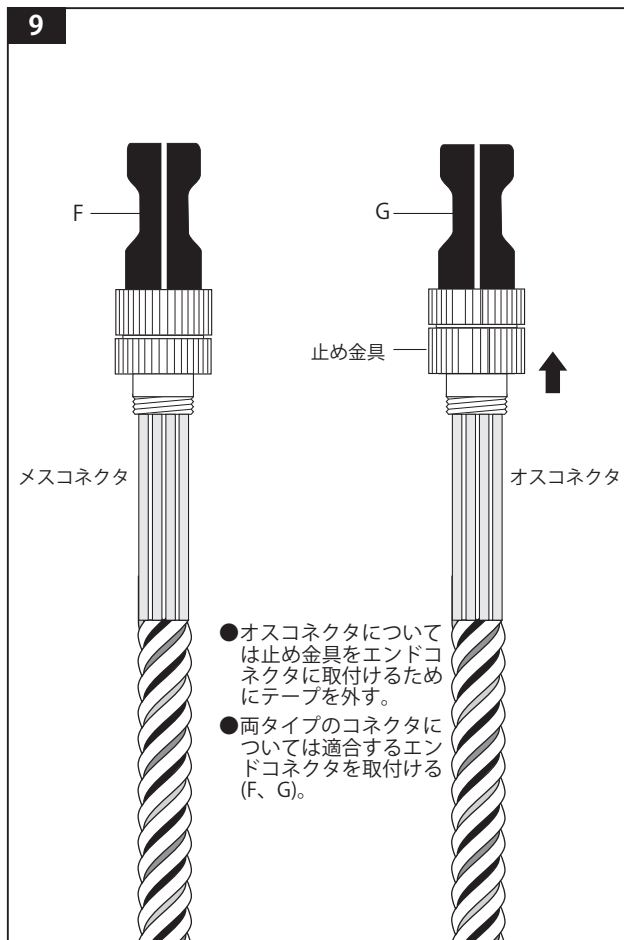
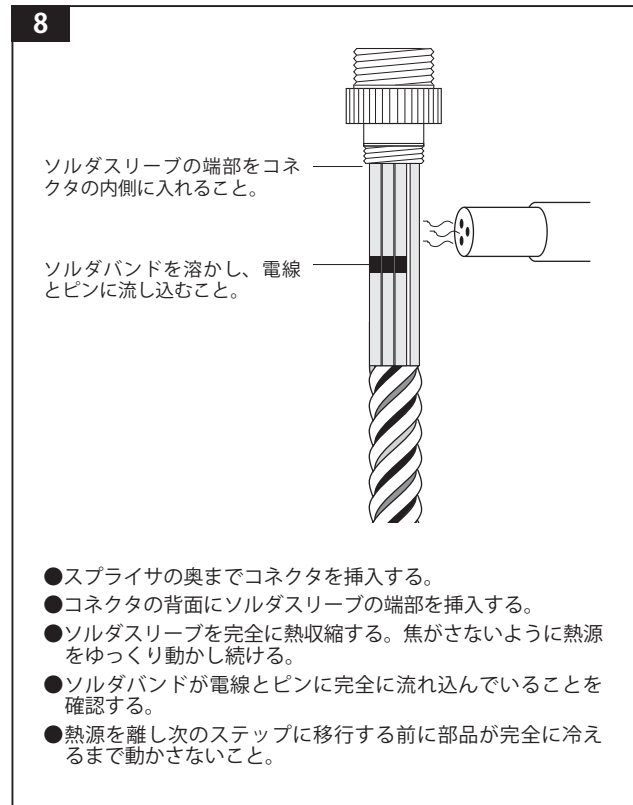
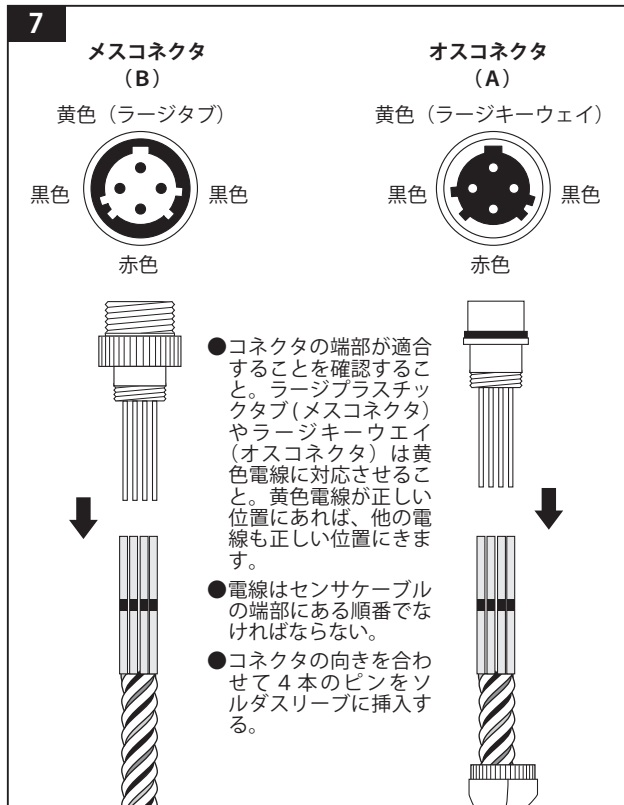


5 コネクタの取付



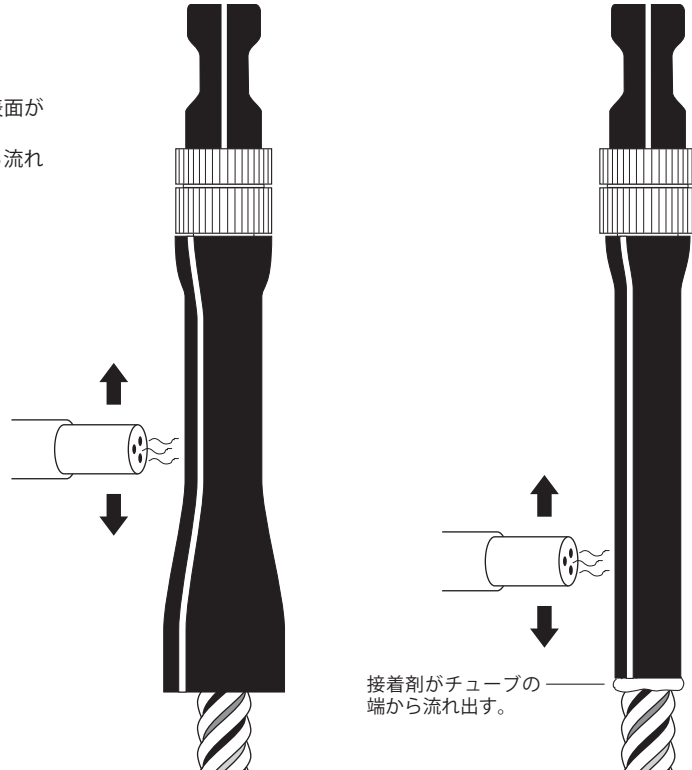
6



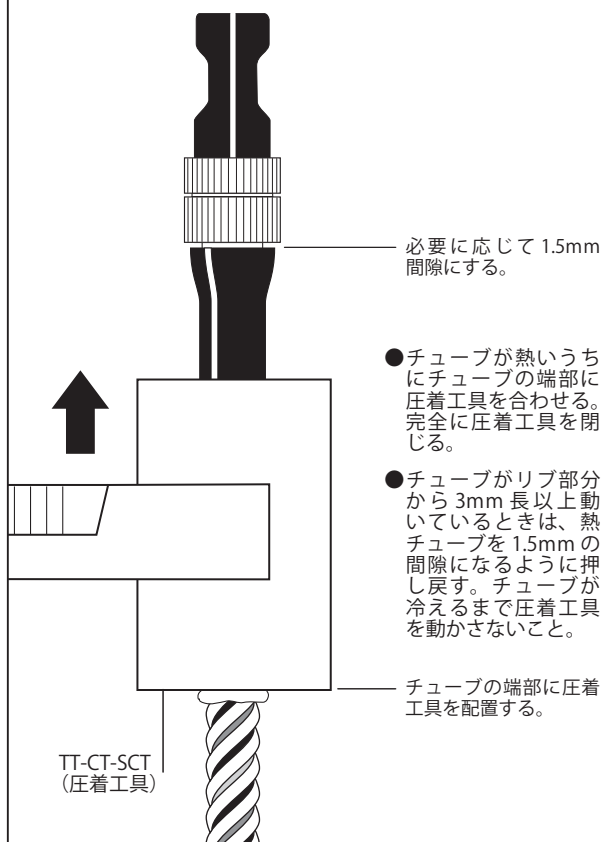


11

- コネクタ端部でチューブを熱収縮し始める。
焦がさないように熱源をゆっくり動かし続ける。
- 内部接着剤が完全に流れ込むようにチューブの表面が滑らかになった後も加熱し続ける。
- 防水シールが確保できるように、接着剤が端から流れ出すまで均一にチューブを加熱する。
- 熱源を離してすぐにステップ 12 に進む。



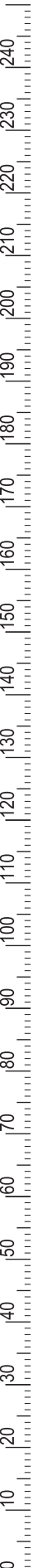
12



13



- 圧着工具をはずし、全体が冷めるまで放置しておく。
- 2つのフィンがチューブに沿って出現する。
- エンドコネクタをはずす (必要に応じてペンチを使用)。
- オスコネクタの止め金具は自由に回転すること。
- 次のステップに進む前にコネクタをテストすること。



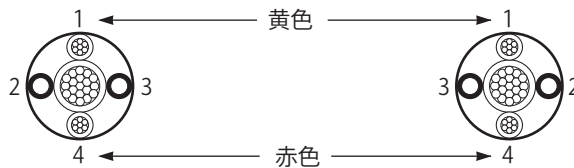
14 コネクタ組立部分のテスト



テストするコネクタに適合するテストツールを取付ける。

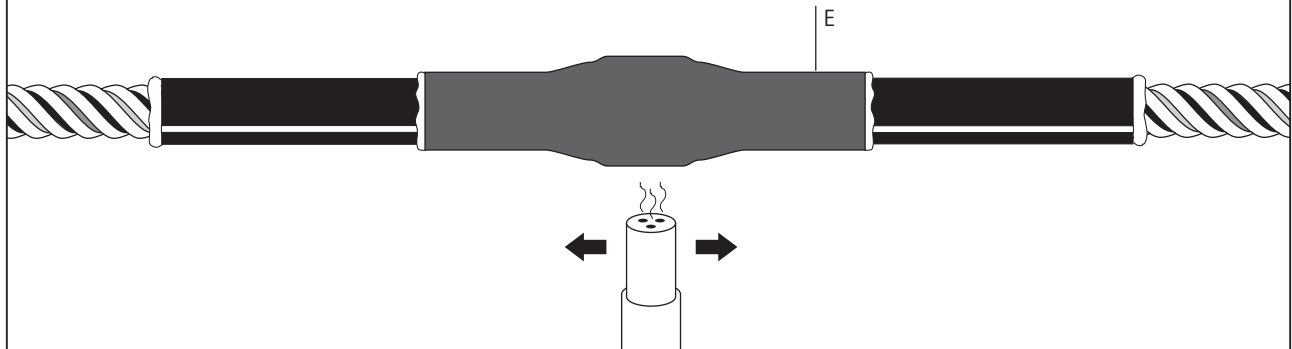
オスコネクタの反対側の
ケーブル端

メスコネクタの反対側の
ケーブル端



- テストするコネクタに適合するテストツールを取付ける。
- センサケーブルの両端にコネクタがある場合は反対側の端部にエンドコネクタを取付ける。反対側の端部にコネクタが無い場合はステップ2と3を実施する。電線1と2、3と4を撚り合わせる。
- テストツールピン間の抵抗値を測定するために抵抗計を使用する。
- 2本の長い方のピン間か2本の短い方のピン間の抵抗値がセンサケーブル長を示す(例えば、100 ft. ケーブルは400 Ωの測定値になる)。
- 中間の長さのピン間の抵抗値は20メガΩ以上なければなりません。
- 抵抗値測定テストの1つでも不良が発生した場合；
 - 1) 2本の黒色電線がセンサケーブルの他方の端で接触しているか確認する。
 - 2) 必要に応じてコネクタを切断して新しいものを取付ける。

15 コネクタ部分のシール



- コネクタを接合する前に細いほうのチューブを一方のセンサケーブルに通す。オス・メスコネクタをしっかりと接続する。オス・メスコネクタ接合部分が中央になるようにチューブをスライドする。チューブの中央部分から始めて端部に向かってチューブが完全にコネクタの形になり接着剤が両端部から流れ出るまでしっかりと熱収縮する。
- センサケーブルを取り扱う前にコネクタ部分が冷えるのを待つ。

tyco

Flow Control

**Tyco Thermal
Controls**

タイコ サーマル コントロールズ

〒 214-8533

川崎市多摩区登戸 3816 番地

電話 044-900-5108

FAX 044-900-5146

本カタログに記載する情報(図を含む)は、信頼のおけるものと考えていますが、その情報の完全性について保証するものではありません。ご使用の際には、選定した製品が用途に適合するかどうかについて貴社にて評価・確認していただく必要があります。当社の責任範囲は、製品の取引条件にて確認されることのみであり、製品の使用、誤使用等によって起こった偶発的、間接的損傷については、製造物責任法で定める場合を除き責任を負いません。仕様の変更は予告なしに行うことがあります。また、仕様に影響を与えない範囲での材料、工程等の変更を行うことがあります。但し、別途契約書にて確認した取引条件についてはそれに従うものとします。